

中間テスト

5月21日(木)、22日(金)に1学期中間テストが行われました。1年生にとっては、中学校生活で初めての定期テストでしたね。計画的にテスト勉強はできましたか?小学校とは違って、テスト範囲も広く、「一夜漬け」ではなかなか思うような成績を残すことはできません。

さて、テストでは点数が気になるころだと思いますが、結果が返されたときにはぜひ「毎日の授業にきちんと取り組んでいたか」「家庭での学習をどのように積み重ねてきたか」を振り返る機会にしてください。今回の結果をしっかりと受け止め、『次、どうするか』につなげるようにしましょう。

**教育実習生 来たる!**

5月25日(月)から教育実習生が本校に来てくれています。本校の卒業生ばかりでしたので、「当時の城陽中学校のようすはどうでしたか?」と聞くと「生徒どうしがとても仲が良かった」「先生方も話しやすく、親しみやすかった。行事も一緒に盛り上がってくれた」「部活動がとても盛んだった」と答えてくれました。本校の良き伝統は今でも受け継がれているのだと感じましたよ。

さて、実習生の皆さんには、ぜひ「学校の先生」という仕事の魅力を本校で感じてほしいと思っています。また、生徒の皆さんにとっても、実習生との出会いによって、新しい考え方や進路へのヒントを得る機会になるかもしれません。『人との出会いが、人を成長させる』そんな数週間になることを期待しています。

「行動」が「未来」をつくる

日々の学校生活の中で、皆さんはさまざまなことに挑戦し、学びを積み重ねています。その成長の土台となるのは、「考えること」だけではなく、「実際に行動すること」です。

スペインの画家パブロ・ピカソは、次のような言葉を残しています。

“Action is the foundational key to all success.”

(行動はすべての成功の土台となる鍵である)

どれほど明確な目標や強い思いを持っていても、行動に移さなければ現実は変わりません。一方で、小さな一歩であっても行動を始めることで、学びや気づきが生まれ、次の成長へとつながっていきます。

中学校生活では、授業や家庭学習の取り組み、部活動での挑戦、友人との関わりなど、日々多くの「行動の機会」があります。うまくいかどうかを考えて立ち止まるよりも、**まず一歩踏み出してみる**ことが大切です。その経験の積み重ねが、自分自身の力となります。行動したけれど、うまくいかないということもあるでしょう。でもそれは決して無駄ではありません。行動したからこそ得られる「学び」であり、次の成功への材料となるはずですよ。